

受託候補者選定評価基準表

段階	審査項目	評価項目	着眼点・判断基準	配点	優	良	可	不可
書面審査 (第一次審査)	テーマに対する技術提案	開催運営に支障のない構造・工法・工程及びスケジュールの考え方・検討プロセスについて	開催制限期間を縮小し、収益を確保しながら計画期間内の竣工を担保できるか	100	100	70	50	0
		様々な属性を持った競輪ファン及び市民にとって魅力的な空間とするための考え方・検討プロセスについて	従来のファンの満足度を満たしながら、家族連れや女性にとっても来場しやすい施設となる基本計画が期待できるか	50	50	35	25	0
		クライミング大会開催時の観客スペースについて、他のスポーツ施設を整備するなど、その有効利用の考え方・検討プロセスについて	クライミング施設を中核とする複合型スポーツパークとして、多くの市民に利用される施設となる基本計画が期待できるか	100	100	70	50	0
		事業費縮減（イニシャルコスト・ランニングコスト）の考え方・決定までの検討プロセスについて	整備費の圧縮、管理費・維持補修費の縮減、収益の向上をどの様に図るか	50	50	35	25	0
		基本計画の実現性を高めつつ、デザインビルドの事業者選定の際のリスクを踏まえた、要求水準書における条件設定や事業者選定の評価基準についての考え方・検討プロセスについて	発注者の意図を担保しながら、事業者の自由な発想を促すことができるなど、適切な定量評価と定性評価を組み合わせ、最適な事業者の選定が期待できるものであるか	100	100	70	50	0
	実施体制等	業務の理解度	本事業の目的、条件、内容、課題などの理解度を評価	50	50	35	25	0
		業務の実施体制	人員配置数や専任数、資格や経験(CMなど)、チェック体制などを評価	50	50	35	25	0
		業務実施のスケジュール	本事業に関するスケジュールにつき、迅速で適切な工程が設定されているか評価	100	100	70	50	0
		法人及び管理技術者又は担当技術者が過去に担当した同種業務の実績	法人及び担当者に過去10年間に以下の実績があれば、それぞれに加点する（法人75点、担当者75点が上限）* ・競輪施設又は事業の実績55点、他の公営競技の施設又は事業の実績30点(55点が上限) ・要求水準書作成業務の実績20点	150	左記算定式により計算			
	参考見積金額	業者の参考見積価格の評価	以下の算定式により算出する（50点が上限）。価格は税込み価格とする。 ・ $165 - 1/200 * \text{見積価格(千円)}$	50	左記算定式により計算 (小数点以下切り捨て)			
小計				800				
プレゼンテーション (第二次審査)	提案内容	提案内容の実現性	提案内容の実現可能性について、質問などにより評価	100	100	70	50	0
	取組意欲及びコミュニケーション能力	取組意欲	積極性がどの程度か、自社の強みを活かしているか、独自提案や逆提案があるか、などを評価	50	50	35	25	0
		コミュニケーション能力	説明能力、表現力、質問を正確に理解して回答する能力などを評価	50	50	35	25	0
小計				200				
合計				1000				

*算定例：法人には競輪施設の実績、ボートレース事業の実績、要求水準書作成業務の実績があり、担当者には要求水準書作成業務の実績がある場合

法人：75点（55点+20点） 担当者：20点 合計：95点

※受託候補者の最低選定基準及び提案者の場合の選定基準は総合得点が500点以上とする